

青森市町会連合会事務局発行
事務局
（んじり）

第101号 58・11
TEL 34-2584

○ 創立三十周年記念式典・祝賀会（於文化会館）
〜〜〜〜ともに大盛況裡に終る〜〜〜〜

十月十一日、午後一時からの式典（大ホール）、午後三時半からの祝賀会（大会議室）は予定通り実施され、式典は一、八〇〇名、祝賀会は三二二名の申込みで、出席者は三〇〇名であった。両会場のアトラクションは、五地域から各三種目程度を代表として出演していただいた。皆、素人のグループで、多少の心配もあったが、豪華な大ステージを充分こなし、玄人ハダシの芸達者ばかりだった。祝賀会も満員の盛況で余興には、市長さんもステージのマイクを握り、旧市民歌（古閑裕而作曲）の二番から四番まで熱唱するハッスルぶりだった。式典出席者確保でご協力された各町会長さんには厚くお礼申し上げます。

○ 記念誌について

● 表紙カバー（ねぶた写真）は記念誌としては珍しいものだが、ネガ五十枚の中から選んだものである。できれば、世界唯一の海上運行のねぶたを選びたかったが、良いものには皆コマーションルがついており、諦めざるを得なかった。カバーは本誌の顔であり、ねぶたは青森の象徴である。

● 表紙については、色見本数十種から、かなりの人に好みをさぐったが、十人十色で難行した。結局、和風の抹茶色に金文字を印刷するのが品もあり、これに決めた。題字も活字でなく、和紙に毛筆書きして内容の硬さをやわらげるように努めた。

● 撮影について

カバーのねぶたはシルバーフォト、航空写真は佐藤カメラで撮影したもので、町内行事の写真はそれぞれ町内のアマチュアカメラマンが撮影したものを借りした。カラーが殆どだが、印刷はカラーだと高価すぎるので白黒にした。従って多少ボケルのは止むを得なかった。

● 紙質について

上質で厚ものを選んだ。クリーム色にしたのは落ちつきもあり、照りかえりを押さえて、目にもよいと思ったからである。

● 内容について

ごらんのとおりだが、広告を掲載しない、挨拶、祝辞は最小限度にし、校正は三名の委員で六回検討した。なお、部数は七〇〇部印刷、一部二千元の製作費になった。すべて経費は幹旋品収益三ヶ年の積立でと、市の補助でまかなった。この機会に幹旋品にご協力いただいた町会長さんへ厚くお礼申し上げます。

○ 函館町会連合会との懇談会

（於市役所）
第四委員会室

十月二十日、午後二時半より四時まで懇談。

函館側 町連会長等二十五名、青森側 会長他四名。

話題は、町連の組織・事業活動・市からの補助金関係・行政との交流状況・予算関係などについて熱心に話し合い、最後に函館町連交通安全部長が自作の交通安全音頭を歌い、和やかな拍手で会を閉じた。

○ 白アリ被害情報

今春、白アリ被害についての対策として、調査と駆除について、文書を送りましたが、五月末から六月始めにかけて寒冷がつづいたため予想外発生が少かった。

申込み内訳は

- 木喰い虫 四件
- クロアリガタバチ 一件
- 黒アリ 七件
- 白アリ 八件

計二十件である。今春は発生時期が異常気温になったため、来春、今一度調査の予定。

○ 市長と語る市民の集い

〜〜〜〜年度中これまで〜〜〜〜

- 6/6 東部第七区連合町会（小柳 山口健治郎）
 - 6/14 南部第三区（協和町 須々田源之助）
 - 7/16 東部第六区（佃第二 木村 五郎）
 - 8/11 東部第五区（戸山 奥崎 国栄）
 - 8/24 東部第八区（御園町 大塚英五郎）
 - 10/13 南部第七区（浜田 佐藤 武）
 - 10/21 西部第五区（新城中 斉藤 城栄）
 - 11/4 西部第七区（江渡中 川口 要作）
- 右のとおり、本年度は八地区で行われた。

○ 伝言板

● 回覧板は残り九十五枚だけになったので、欲しい町会は早く注文してください。一枚三〇〇円、先着順。

● ゴミ看板は品切れのため、当分、注文に応じかねます。

○ 防犯灯の寄贈

昭和五十八年度、秋期の東北電力青森営業所より寄贈防犯灯は十五灯、次の町会へ贈ることになった。但し、現場検分して、不相当と認められた場合は、取消しになります。

- 西上古川町会、大福町、沖館第四、玉川、羽白、西平岡、はまなす、幸畑団地西、千刈、奥内、桂、小柳、北富田、広田、野内

以上十五町会

墓碑名

故上三上町々会長 嶋 幸一氏（七十才）

十月四日永眠、長年国鉄に勤められ、停年後は三厩村の関連会社に就職、毎日通勤して、時々事務所へ顔をみせていた。その後、調子わるく県病へ入院。日頃、禁酒・禁煙、温顔を絶やさぬ故人も、肝臓ガンには立ち向う術もなかったようだ。

つつしんでご冥福を祈ります。

ビルの影ながながと今朝の冷え (K)

